

ご自由にお持ち帰り
ください

蜂須賀病院 機関誌

はちすが通信



特集

関節鏡手術

肩関節疾患も関節鏡視下手術の時代！

整形外科 副部長／村田 高

- 新年度ご挨拶・新任のご挨拶
- 部署紹介(リハビリテーション課・地域連携室・画像診断課・薬局)

新年度のごあいさつ



理事長

森岡 隆人

Takato Morioka

鳥取大学医学部卒
九州大学大学院医学研究科終了

地域の皆様のご要望に お応えできる病院を目指します。

当院は、昭和58年に故蜂須賀庄次先生が蜂須賀脳外科
医院を開設し、昭和62年に故江崎正孝先生が整形外科を
併設し、現在に至っています。宗像医療圏における脳外科・
整形外科疾患の急性期治療に対応し、今年度で42年目を
迎えました。

私自身は、同医療圏における唯一人のてんかん・脳波専
門医として、最先端のてんかん診療にも重点をおいていま
す。てんかんは小児が中心の病気と思われがちですが、高
齢化に伴い、中高年で発症する「高齢者てんかん」が注
目を集めています。てんかん発作は脳内でとても大きな電気

活動が突然に生じて起こりますが、それに必要なエネルギーを供給するために、同部の血流が
著しく増えることが知られています。私達はこの血流増加を、ASL(エイエスエル)血流画像と
呼ばれるMRIで画像化することにより、てんかん診断の精度を高める事に取り組んでいます。

今後も地域の皆様のご要望にお応えできる病院を目指して頑張りたいと思いますので、どう
ぞよろしくお願いします。

24時間体制で 質の高い脳卒中治療を 提供します。



脳神経外科 部長

伊野波 諭

Satoshi Inoha

鳥取大学医学部卒

脳神経外科では、九州
大学の支援のもと休日・
夜間を問わず脳神経外科
医が常駐し、質の高い脳
卒中治療を提供していま
す。近年、地域の高齢化
に伴いてんかんや認知症
に関する診察・治療のニ-

ーズが高まっており、MRIや脳波検査などを実施し内
服薬の導入や生活基盤の準備なども行っています。
また、手術で改善が見込める認知症として知られる
正常圧水頭症の診断・治療にも力を入れ、地域住
民の健康維持に貢献できるよう努めています。

痛み、しびれなど体の不調はありませんか？ 地域の皆様が健康に生活できるよう サポートします。



整形外科 部長

津留崎 晋

Susumu Tsurusaki

九州大学医学部卒

高齢化がすすみ腰、膝、肩などの
痛みでお困りの方が増えていると感
じます。骨粗鬆症による骨折、スポー
ツ外傷なども多く、整形外科の専門
治療を要する方がたくさんいらっしゃ
います。当院ではレントゲン、CT、
MRI、骨密度検査、痛風や関節リウ
マチの血液検査も可能です。飲み薬、

ヒアルロン酸注射、サポーターなどの通院治療だけでなく、関節鏡手術、
人工関節手術などトータルで診療を行っています。骨折に対しては、早い
社会復帰のために早期に手術を行いリハビリにつなげる体制をとっていま
す。近隣のクリニックや総合病院とも連携を取りながら最適な診療を心
掛けておりますので痛み・けがなどでお困りの方は一度ご相談下さい。

新任医師6名の着任ご挨拶



整形外科

中家 一寿

Kazutoshi Nakaie

鳥取大学医学部卒

2025年4月より蜂須賀病院 整形外科で勤務させていただきます中家 一寿と申します。昨年度まで福岡東医療センターで勤務していました。これからも地域医療に貢献したいと思えます。宜しくお願いします。



脳神経外科

横溝 明史

Akifumi Yokomizo

久留米大学医学部卒

2025年4月より蜂須賀病院 脳神経外科で常勤として赴任致しました横溝 明史と申します。憂いのない診療を心掛けて参ります。宗像の大島の景色が素晴らしいと伺ったのでぜひ機会があれば訪れてみたいと思えます。



脳神経外科

柳田 暢志

Masayuki Yanagida

九州大学医学部卒

2025年4月より当院で勤務いたします脳神経外科柳田 暢志と申します。水曜日を中心に外来をさせていただきます。精一杯の診療を行っていただきますのでよろしくお願い致します。



脳神経外科

桑原 和久

Kazuhisa Kuwabara

九州大学医学部卒

普段は九州大学病院脳神経外科で診療にあたり、非常勤医師として主に金曜日の外来を担当しております。丁寧でわかりやすい診療を心がけています。よろしくお願い致します。



脳神経外科

桶谷 英司

Hiroshi Oketani

千葉大学医学部卒

4月より蜂須賀病院で非常勤として勤務させていただきます桶谷 英司と申します。2年前まで1年間常勤医として勤務させていただきました。また蜂須賀病院で働くことができ光栄に思えます。宜しくお願いします。



脳神経外科

要名本 あゆみ

Ayumi Yonamoto

九州大学医学部卒

4月より非常勤医として勤務しております要名本です。出身は熊本で、九州大学を卒業し同大学脳神経外科に所属しています。宗像は度々訪れたことがあり素敵な土地だと思っていたので、ご

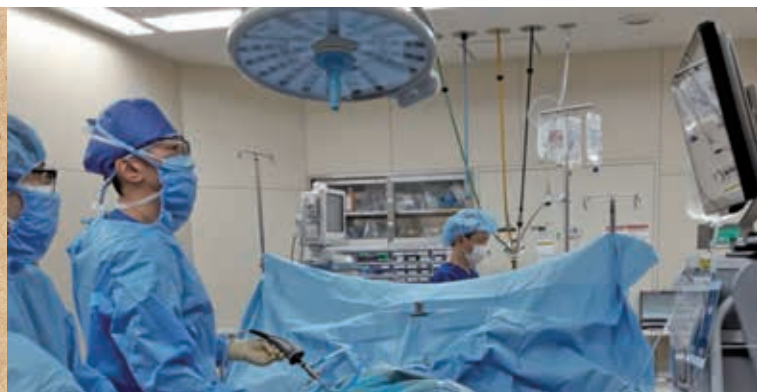
縁がありうれしく思えます。地域の医療に貢献できるように努めて参りますのでよろしくお願い致します。

肩関節の疾患でお悩みの方、必見!!

特集 関節鏡手術

肩関節疾患も 関節鏡視下手術の 時代!

整形外科 副部長／村田 高



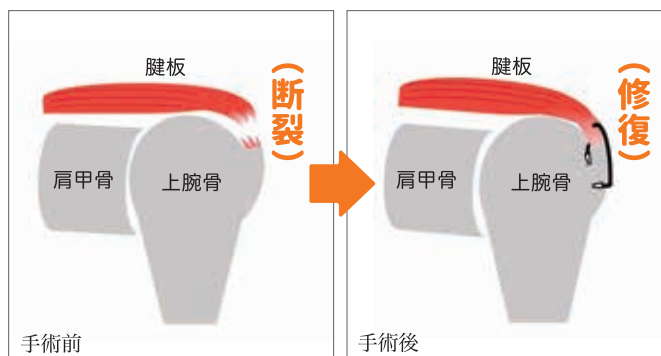
① 肩腱板断裂

肩の**腱板断裂**は40歳以上の男性で利き手に好発し、肩の運動障害、運動時痛、夜間痛などを呈しますが、五十肩のように拘縮することは少ないです。また腕が全く挙がらない人は少ないですが、挙がっても力が入りにくくなります。明らかな外傷やスポーツで断裂することは少なく、加齢による腱板の変性に伴って、徐々にすり切れる人が多いです。まずは薬物療法、関節注射、運動療法を行います。それでも疼痛が改善しない方や最初から自動挙上不能な方は手術療法を選択します。最近^{※2}は低侵襲^{※2}である**関節鏡視下腱板修復術**で行われることが多く、術後は疼痛軽度ですが、装具による固定を3～4週、リハビリは2～3ヶ月必要になります。

※1 拘縮とは、関節が固まってしまい、動かしにくくなる状態のこと

※2 低侵襲とは、体の負担(侵襲)が小さい医療、手術、治療などのこと

[関節鏡視下腱板修復術]



関節鏡は世界に先駆けて我が国で開発され実用化されたものです。

関節鏡手術は **5mm 程の小さな穴** こうしゆく かくまくえん を数個開けるだけで行うことが出来るため体への負担が少なく、術後の関節の拘縮や滑膜炎による軟骨障害を減らせます。肩関節では主に腱板断裂、反復性肩関節脱臼、肩関節拘縮などに対して施行されます。

② 反復性肩関節脱臼

反復性肩関節脱臼とは、一度大きなけがをして肩を脱臼した方が、その後脱臼を繰り返してしまうことです。脱臼に対する恐怖感から生活に制限がかかり、スポーツ活動が不自由になります。症状が進むと腕を頭の後ろで組むだけで脱臼するようになります。手術は関節鏡視下に**関節唇修復術**（バンカート手術）を行います。約1センチの傷が肩の前面と後面に合計3カ所できます。手術後2週間は三角巾で簡単に固定します。通常約1か月でデスクワークなどの軽作業ができるようになり、日常生活に不自由がなくなります。3か月で軽負荷のスポーツや作業、6か月でスポーツや重労働への完全復帰を目指します。

③ 肩関節拘縮 こうしゆく

いわゆる「五十肩」や「肩関節周囲炎」で関節包や靱帯が癒着し動きが制限され、次第に周囲の筋肉も硬くなって、腕が挙がらなくなり日常生活に支障をきたします。まずは投薬やリハビリテーション、麻酔下での非観血的授動術で改善を目指しますが、改善が得られなければ、関節鏡視下に**関節包切離術**を行います。

このような肩疾患でお悩みの方は、
当院整形外科にご相談ください。

蜂須賀病院 部署紹介

リハビリテーション課



再び動き出す力、
諦めない想い。
その一歩を支えたい

当院リハビリテーション課は理学療法士11名、作業療法士5名、言語聴覚士1名のスタッフで医師、看護師、看護助手と連携し「早期離床」を理念に訓練を実施しています。

早期より介入することで患者様の予後の身体機能レベルを向上させ、入院中の廃用予防も可能です。また地域包括ケア病棟を有しており、急性期だけの関わりではなく在宅復帰支援にも取り組んでいます。

地域連携室



患者様が
地域医療を受けられるよう
切れ目のない支援を

地域連携室は2006年4月に開設し、2018年に入退院支援部門を設立しました。地域の医療機関・福祉施設・行政機関との連携を図り、患者様とご家族が安心して地域で生活ができるよう入退院支援に取り組んでいます。

患者様がスムーズに医療を受けれるように調整し、地域の皆様から信頼される病院を目指しています。

画像診断課



鮮明な画像が語る
確かな情報。
安心への道しるべ

私たち画像診断課は、診療放射線技師6名が在籍しており、主な業務は一般撮影（レントゲン）・CT検査・MRI検査・骨密度検査・血管造影検査・医用画像管理などを行っています。

病院・検査には不安がつきものだと思います。画像診断という立場から、チーム医療の一員としてそのような不安を少しでも減らし、患者様に寄り添ったサポートを行えるよう努めてまいります。

薬局



安心と笑顔を薬に込め、
服用方法も
丁寧に説明します

当院薬局は薬剤師5名、事務1名が所属しております。チーム医療の一員として様々な職種の方と協力し、患者様に寄り添った医療を提供できるよう日々最善を尽くしております。

入院患者様に処方される注射薬・内服薬・外用薬等の調剤や管理、お薬の相談だけでなく、外来患者様への薬剤の説明や手術前のお薬情報の聞き取りなどにも取り組んでおります。

脳神経外科

整形外科

24時間救急指定病院



医療法人 庄正会

蜂須賀病院

〒811-3423 宗像市野坂2650

TEL 0940-36-3636

□ 外来診療担当医表

2025年4月1日～

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
脳神経外科	横溝	伊野波	森岡	森岡	森岡	担当医	横溝	伊野波	伊野波 (物忘れ外来)	横溝	担当医
	辛島	辛島	伊野波	横溝	担当医		桶谷	桶谷	桑原	桑原	
整形外科	和田山	和田山	寺戸	津留崎	菅野	菅野	横山	横山	川口	川口	播広谷
	中家	村田	南部	中家	田川		寺戸	津留崎	中家	寺戸	担当医
						井原 (※1)					

□ 診察時間

午前／9:00～12:00

※ただし 受付時間は11:30までとなります

午後／14:00～17:00

※ただし 受付時間は16:30までとなります

(※1) 井原医師の診察は第2・4週の午前中のみです

□ 待ち時間短縮の為、予約制を取り入れております。

電話予約(当日予約可)をお願いします。

□ 緊急手術などで、診療日及び時間の変更がある場合があります。

予めご了承ください。

HPはこちら

